

平成9年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成9年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成10年7月1日(水)～2日(木)に祁答院ゴルフ倶楽部において開催された。

この検討会には、試験場関係者27名、委託関係者55名ほか、計88名の参集を得て、除草剤45薬剤(492点)、生育調節剤3薬剤(13点)について、試験成績の

報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

また、6月30日(火)に祁答院ゴルフ倶楽部において現地検討会が開催された。

平成9年度 秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
1. AC-314SG 顆粒水溶剤 イマザキン 12% アジメタム 42% [日本サファティ]	シバ	適用性 新規 (8年度)	<大阪GC> (0)	[一年生雑草] 雑草生育期 (スズメノカタビラ3～5葉期) ; 0.3、0.4、0.5g<200-250> ; 茎葉処理 ; アジメタム 80SG 慣行量 <200-500>	—	—
2. AC-414 水和剤 シクロスルファミロン 10% (つづく)	コライシバ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新規	植調研、 東日本G研	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.4、0.8、1.6g<200-250> ; 土壌処理 ; 一任 (2) 0.8、1.6gは薬害のみ検討	継 (継) ・効果、薬害の確認。	
			植調研、 東日本G研	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 (広葉雑草3葉期迄) ; 0.2、0.4、0.8、1.6g<200-250> ; 茎葉処理 ; 一任 (2) 0.8、1.6gは薬害のみ検討		
	シバ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新規	植調研、 西日本G研	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.4、0.8、1.6g<200-250> ; 土壌処理 ; 一任 (2) 0.8、1.6gは薬害のみ検討		
			植調研、 西日本G研	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 (広葉雑草3葉期迄) ; 0.2、0.4、0.8、1.6g<200-250> ; 茎葉処理 ; 一任 (2) 0.8、1.6gは薬害のみ検討		

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容	
2. AC-414 水和剤 (つづき)	ペント グラス (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	那須ナヒー、 中国G連G研 (2)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.3、0.4g<200-250> ; 土壌処理 ; フクシン水和剤			
			那須ナヒー、 中国G連G研 (2)	[一年生広葉雑草] 雑草発生初期 (広葉雑草3葉期迄) ; 0.2、0.3、0.4g<200-250> ; 茎葉処理 ; フクシン水和剤			
		ブルー グラス (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 那須ナヒー (2)			[一年生広葉雑草] 雑草発生前 (広葉雑草3葉期迄) ; 0.2、0.3、0.4g<200-250> ; 茎葉処理 ; フクシン水和剤
				東日本G研、 那須ナヒー (2)			[一年生広葉雑草] 雑草発生初期 (広葉雑草3葉期迄) ; 0.2、0.3、0.4g<200-250> ; 茎葉処理 ; フクシン水和剤
	コライシバ	適用性 新 規	フッソカデオン、 佐野GC、 浜松サイトGC、 鳥取園試、 福岡農総園研 (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.3、0.4g<200-250> ; 土壌処理 ; ケイイン水和剤 0.04g<200-250>			
			フッソカデオン、 佐野GC、 浜松サイトGC、 鳥取園試、 福岡農総園研 (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生初期 (広葉雑草3葉期迄) ; 0.2、0.3、0.4g<200-250> ; 茎葉処理 ; インフル水和剤 0.3g<200-250>			
		パハ	適用性 新 規	小杉CC、総武CC、 新沼津CC、 鳥取園試、 西日本G研 (5)			[一年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.3、0.4g<200-250> ; 土壌処理 ; ケイイン水和剤 0.04g<200-250>
				小杉CC、総武CC、 新沼津CC、 鳥取園試、 西日本G研 (5)			[一年生広葉雑草] 雑草発生初期 (広葉雑草3葉期迄) ; 0.2、0.3、0.4g<200-250> ; 茎葉処理 ; インフル水和剤 0.3g<200-250>
〔日本サイトナット〕							

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <=>中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
3. AC-828 乳 剤 シメチリン 750g/ℓ	コライシバ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	宇都宮大学、 東日本G研 (2)	[一年生雑草] 芝生育期 (雑草発生前から 発生初期の1時期) ; 0.35、0.7、1.4ml<200-300> ; 土壌又は茎葉処理 ; 一任	継 継)	・効果、薬害の確認。
	シバ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	宇都宮大学、 東日本G研 (2)			
	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研、 埼玉県民G場、 習志野CC、 東日本G研、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15、0.25、0.35ml<200-300> ; 土壌処理 ; パナフィン顆粒水和剤 0.5g <200-300>		
			東日本G研、 埼玉県民G場、 習志野CC、 東日本G研、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生初期 (スズメノカタビラ2葉期迄) ; 0.15、0.25、0.35ml<200-300> ; 茎葉処理 ; アーラン80SG 0.4g <200-300>		
	シバ	適用性 新 規	東日本G研、 千葉大学、 リバー富士CC、 琵琶湖CC、 宮崎CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15、0.25、0.35ml<200-300> ; 土壌処理 ; パナフィン顆粒水和剤 0.5g <200-300>		
[日本サイナミッド]			東日本G研、 千葉大学、 リバー富士CC、 琵琶湖CC、 宮崎CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生初期 (スズメノカタビラ2葉期迄) ; 0.15、0.25、0.35ml<200-300> ; 茎葉処理 ; アーラン80SG 0.4g <200-300>		
4. CG-148 顆粒水和剤 (シバ・コップ 顆粒水和剤) シノスルフロン 18.5%	コライシバ	適用性 継 続	<名取GC>、 茨城農総園研、 <高坂CC>、 タカノスGC、 佐賀CC (3)	[一年生広葉雑草及びジギタリス 科、フトメグサ、カタバミ、クローバー等] 広葉雑草生育初期(3葉期迄) ; 0.045、0.06、0.09g <200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5ml<200>	実・ 継	実) [(コライシバ、シバ) 一年生雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前 ～生育初期(3葉期まで)。 ・0.045～0.09g<200>。 ・土壌又は茎葉処理。 継) ・雑草生育期の効果確認。 ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。
			<名取GC>、 茨城農総園研、 <高坂CC>、 タカノスGC、 佐賀CC (3)	[一年生広葉雑草及びジギタリス 科、フトメグサ、カタバミ、クローバー等] 広葉雑草生育期(5葉期程度) ; 0.045、0.06、0.09g <200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5ml<200>		
(つづく)						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
4. CG-148 顆粒水和剤 (つづき)	ノシバ	適用性 継 続	小杉CC、 那須ナセー、 ウイングFGC、 甲府国際CC、 東広野GC (5)	[一年生広葉雑草及びジギタリス 科、チトメタス、カタハミ、クロハナ等] 広葉雑草生育初期(3葉期迄) ; 0.045、0.06、0.09g <200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5ml<200>		
[ノシバティス アグロ]			小杉CC、 那須ナセー、 ウイングFGC、 甲府国際CC、 東広野GC (5)	[一年生広葉雑草及びジギタリス 科、チトメタス、カタハミ、クロハナ等] 広葉雑草生育期(5葉期程度) ; 0.045、0.06、0.09g <200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5ml<200>		
5. DEH-114 顆粒水和剤 (ハナフィンプロ) ベンフルリン 55 % イソキサベン 5.5% [ダウ・ケミカル日本、 塩野義製薬]	コライシバ	実 証	東蔵王GC、 埼玉県民G場、 門司GC (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.6g<200> ; 土壌処理 ; —	—	—
6. DEH-115 ゾル剤 Florasulam 5%	ベント グラス (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC (1)	[(広葉雑草)] H8春→H8秋→H9春→H9秋 雑草発生初期 (本葉2～3葉期) ; 0.04、0.08、0.16ml<150> ; 茎葉処理 ; —	実・ 継	前回判定どおり。
	ベント グラス	適用性 継 続 (8年度)	<小諸高原GC> (0)	[広葉雑草] 雑草発生初期(2～3葉期) ; 0.02、0.04、0.08ml<150-200> ; 茎葉処理 ; イソキサベン水和剤 0.3g<200-300>		
	ブルー グラス	適用性 継 続 (8年度)	<札幌不二ロイヤルGC> (0)			
[ダウ・ケミカル日本]						
7. DEH-116 液剤 トリクロピル 33% 新規化合物 12.1%	コライシバ	適用性 新 規 (8年度)	宇都宮大学<②> 中国G連G研②、 西日本G研① (2)	[広葉雑草] ①10月後半又は翌春3月前半 雑草生育期 ②翌春3月、雑草生育期 ; 0.15、0.20、0.25 ml<150-200> ; 茎葉処理 ; サイロゲン液剤 0.4 ml<150-200>	継 (前判定どおり)	(前判定どおり) ・成分未公開。 ・効果、被害の確認。
	ノシバ	適用性 新 規 (8年度)	宇都宮大学<②> 中国G連G研②、 西日本G研① (2)	[広葉雑草] ①10月後半、雑草生育期 ②翌春3月、雑草生育期 ; 0.15、0.20、0.25 ml<150-200> ; 茎葉処理 ; サイロゲン液剤 0.4 ml<150-200>		
[ダウ・ケミカル日本]						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量mL>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
8. DEH-118 顆粒水和剤 イソキサベン Florasulam 60% 4%	コウライシバ (殺草ス ペクトル)	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)	[広葉雑草] 雑草発生初期(発生始め～初期) ; 0.03、0.04、0.05g<150-200> ; 茎葉兼土壌処理 ; イソフ [®] - [®] 水和剤 0.3g<200>	継	(継) ・効果、薬害の確認。
		作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)			
	コウライシバ (薬害)	作用性 新 規	中国G連G研 (1)	[(広葉雑草)] 雑草発生初期(発生始め～初期) ; 0.05、0.1、0.2g<150-200> ; 茎葉兼土壌処理 ; 一任(イソフ [®] - [®] 水和剤 0.3g<200>)		
		作用性 新 規	中国G連G研 (1)			
	コウライシバ (連用)	作用性 新 規	植調研 (1)	[(広葉雑草)] H9秋→H10春→H10秋→H11春 雑草発生初期(発生始め～初期) ; 0.1g<150-200> ; 茎葉兼土壌処理 ; ー		
		作用性 新 規	植調研 (1)			
	コウライシバ (適用性 新 規)	適用性 新 規	東日本G研、 佐野GC、 浜松シ [®] サイト [®] GC、 桑名CC、 門司GC (5)	[広葉雑草] 雑草発生初期(発生始め～初期) ; 0.03、0.04、0.05g<150-200> ; 茎葉兼土壌処理 ; イソフ [®] - [®] 水和剤 0.3g<200>		
		適用性 新 規	小杉CC、佐野GC、 浜松シ [®] サイト [®] GC、 桑名CC、 門司GC 小杉CC (5) (発生前; 自主)			
[ダウ・ケミカル日本]						
9. DEH-94T01 ゾ [®] ル剤 オキサリン 40.4%	コウライシバ (剤型)	作用性 新 規	東日本G研 (1)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.4mL<150-200> DEH-94T01 85DF ; 0.1、0.2g <150-200> ; 土壌処理 ; ウェイアップ [®] フロア [®] ル 0.4g <150-200>	実 ・ 継	(実) [(コウライシバ [®] 、ノシバ [®]) 一年生雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.2～0.4mL<200～300>。 ・土壌処理。 (継) ・効果、薬害の確認。 ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。
		作用性 新 規	中国G連G研 (1)			
	コウライシバ (薬害)	作用性 新 規	植調研、 東日本G研 (2)	[(一年生雑草)] 雑草発生前 ; 0.4、0.8、0.16mL<150-200> ; 土壌処理 ; 一任(ウェイアップ [®] フロア [®] ル 0.4g <150-200>)		
		作用性 新 規	中国G連G研、 西日本G研 (2)			
(つづく)						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
9. DEH-94T01 ゾル剤 (つづき)	コライシバ	適用性 新 規	グレート仙台CC、 美浦GC、<高坂CC>、 富士国際GC、 花屋敷GC、 宮崎CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.3、0.4ml<150-200> ; 土壌処理 ; DEH-94T01 85DF 0.1g <150-200> ; ウェイアップ フロアブル 0.4g <150-200>		
[タケノコ日本]	ノシバ	適用性 新 規	くせハ レスデロスGC、 ザ・竜ヶ崎、 富士国際GC、 南長野GC、 今治CC、 宮崎CC (5)			
10. DEH-94T01 顆粒水和剤 オリザリン 85%	コライシバ	実 証	埼玉県民G場、 琵琶湖CC、 門司GC (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.1g<200> ; 土壌処理 ; —	—	—
11. DH-80 粒剤 (ヒトリチカルブ粒剤)	コライシバ (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC、 西日本G研 (2)	[(一年生イネ科雑草)] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 25g ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コライシバ、ベントグラス、 ブルーグラス) 一年生イネ科雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・15～25g。 ・土壌処理。 継) ・連用試験の継続。 ・実証試験での確認。
ヒトリチカルブ 3.5%	ベント グラス (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	ブルー グラス (連用)	作用性 継 続	植調研、 那須ナセー (2)			
	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 美浦GC、 植調研、 那須ナセー、 大阪農技セ、 西日本G研 (6)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 15、20、25g ; 土壌処理 ; エイソ水和剤 1.2g<200-250>		
	ベント グラス	適用性 継 続	那須ナセー、 習志野CC、 大月CC、 南愛知CC、 関西G研、 花屋敷GC、 東日本G研(自主) (6)			
	ブルー グラス	適用性 継 続	札幌芙蓉CC、 泉パークランドGC、 東日本G研 (3)			
[大日本イキ 化学工業]						

A. 除草剤 つづき

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
12. DH-81 粒剤 シチオピル 0.16% [大日本インキ 化学工業]	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研、 那須ヶヶ、 <高坂CC>、 琵琶湖CC、 西日本G研(ジハ) (4)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 15、20、25g ; 土壌処理 ; デイクトン乳剤 0.15ml<200-300>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ジハ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 15~25g. ・ 土壌処理. 継) ・ 効果、薬害の確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ジハ	適用性 継 続	東日本G研、 サ・竜ヶ崎、 南長野GC、 東広野GC、 祁答院GC (5)			
13. DH-86 水和剤 テニクロール 50% エキシスルフロン 6% [トクヤマ、 アケレボシヤハン、 大日本インキ 化学工業]	ジハ	作用性 新 規	宇都宮大学、 西日本G研 (2)	[一年生雑草・ 多年生広葉雑草・カタリクサ科] 雑草発生前 (スズメノカタビラ発生前) ; 0.3、0.4、0.5、0.6g<200-300> ; 土壌処理 ; プロハビト水和剤 0.2g<200-300>	継 継)	・ 効果、薬害の確認.
			宇都宮大学、 西日本G研 (2)	[一年生雑草・ 多年生広葉雑草・カタリクサ科] 雑草発生前 (スズメノカタビラ3葉期迄) ; 0.3、0.4、0.5、0.6g<200-300> ; 土壌処理 ; プロハビト水和剤 0.2g<200-300>		
	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研、 佐野GC、 リハ-富士CC、 琵琶湖CC、 久山CC (5)	[一年生雑草・ 多年生広葉雑草・カタリクサ科] 雑草発生前 ; 0.3、0.4、0.5g<200-300> ; 土壌処理 ; プロハビト水和剤 0.2g<200-300>		
	ジハ	適用性 新 規	東日本G研、 佐野GC、 リハ-富士CC、 東広野GC、 祁答院GC (5)			
14. DTH-85 水和剤 (クワイート水和剤) テニクロール 50% (つづく)	コライシバ (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC、 中国G連G研 (2)	[(一年生イネ科雑草)] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 0.5g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任 (2)	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ジハ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.3~0.5g<200~300>. ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験の継続.
	ジハ (連用)	作用性 継 続	植調研、 中国G連G研 (2)			
	ジハ	適用性 継 続	長野農事 (1)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.3、0.4、0.5g <200-300> ; 土壌処理 ; デイクトン乳剤 0.15ml<200-300>		

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
14. DTH-85 水和剤 (つづき) [トクマ、大日本 インキ化学工業]	コライシバ	実 証	埼玉県民G場、 門司GC (2)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.4g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	シハ*	実 証	美浦GC、 琵琶湖CC (2)			
15. ESH-01 水和剤 ハースロジソン 58% [住友商事]	コライシバ (薬害)	作用性 継 続	那須ナセー、 鳥取園試 (2)	[(-一年生雑草 (カヤツリグサ科、キ科を除く))] 雑草発生前 ; 0.7、1.4、2.8g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実 ・ 継	実)[コライシバ、シハ*] 一年生イネ科雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.5~0.7g<200~300>。 ・土壌処理。 (継) ・一年生広葉雑草に対する効果 の確認。 ・連用試験の継続。 ・実証試験での確認。
	シハ* (薬害)	作用性 継 続	那須ナセー、 鳥取園試 (2)			
	コライシバ (連用)	作用性 新 規	那須ナセー (1)	[(-一年生雑草 (カヤツリグサ科、キ科を除く))] H9秋→H10春→H10秋→H11春 雑草発生前 ; 0.7g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	シハ* (連用)	作用性 新 規	植調研 (1)			
	コライシバ	適用性 継 続	東蔵王GC、 美浦GC、 那須ナセー、 今治CC、 門司GC (5)	[一年生雑草 (カヤツリグサ科、キ科を除く)] 雑草発生前 ; 0.3、0.5、0.7g<200-300> ; 土壌処理 ; ハナフイン顆粒水和剤 0.5g<200-300>		
	シハ*	適用性 継 続	盛岡南CC、 江戸崎CC、 那須ナセー、 東広野GC、 祁答院GC (5)			
16. FN-501 顆粒水和剤 (旧 FDH-501) カフエントラゾニエチル 50% [エフ・エム・シー、 日産化学工業]	コライシバ	適用性 継 続	石川農総試、 佐野GC、 浜松シーサイト*GC、 関西G研、 久山CC (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前(3葉迄) ; 0.01、0.015、0.02g<100-200> ; 展着剤加用 ; 茎葉処理 ; インフール水和剤0.3g<200-300>	実 ・ 継	実)[コライシバ、シハ*] 一年生広葉雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前～ 発生前(3葉期まで)。 ・0.01~0.02g<100~200>。 ・展着剤加用。 ・茎葉処理。 (継) ・有効草種の確認。 ・実証試験での確認。 ・倍量薬害試験での確認。
	シハ*	適用性 継 続	小杉CC、佐野GC、 浜松シーサイト*GC、 関西G研、 久山CC (5)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
17. HSA-953 顆粒水和剤 エトキシスルフロン 60%	コライシバ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 継 続	宇都宮大学、 中国G連G研 (2)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生初期 (広葉雑草 3 葉期迄) ; 0. 06、0. 12、0. 24g<200-300> ; 茎葉処理 ; 一任 コライシバ、シバ、インパール水和剤 0. 3gなど。 ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス; アグリオン水和剤0. 3gなど。]	実・継	実)[コライシバ、シバ、ベントグラス、 ブルーグラス]広葉雑草 ・芝生育期(秋)、 雑草発生後 ～発生初期(3 葉期まで)。 ・0. 03～0. 06g<200～300>。 ・茎葉処理。 (継) ・実証試験での確認。 ・連用試験の継続。
	シバ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 継 続	宇都宮大学、 中国G連G研 (2)			
	ベント グラス (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 継 続	那須ナセー、 中国G連G研 (2)			
	ブルー グラス (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 継 続	滝川畜試、 那須ナセー (2)			
	コライシバ	作用性 新 規 (8年度))	<中国G連G研> (0)	[(広葉雑草)] H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生初期 (広葉雑草 3 葉期迄) ; 0. 06g<200-300> ; 茎葉処理 ; 一		
	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研 (1)			
	シバ	作用性 新 規 (8年度))	<中国G連G研> (0)			
	シバ (連用)	作用性 継 続	植調研 (1)			
	ベント グラス (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC (1)			
	ブルー グラス (連用)	作用性 継 続	滝川畜試 (1)			
(つづく)	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 那須ナセー、 リバー富士CC、 花屋敷GC、 門司GC (5)	[広葉雑草] 雑草発生初期 (広葉雑草 3 葉期迄) ; 0. 03、0. 045、0. 06g<200-300> ; 茎葉処理 ; 一任 コライシバ、シバ、インパール水和剤 0. 3gなど。 ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス; アグリオン水和剤0. 3gなど。]		
	シバ	適用性 継 続	東日本G研、 那須ナセー、 富士国際GC、 琵琶湖CC、 祁答院GC (5)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 く>=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ； 薬量g・ml<水量ml>/m ² ； 処理方法 ； 比較剤	判 定	内 容
17. HSA-953 顆粒水和剤 (つづき)	ベント グラス	適用性 継 続	那須ナナレー、 総武CC、大月CC、 南愛知CC、 中国G連G研 (5) 東日本G研(自主)			
	ブルー グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 小樽CC、 札幌不二ロイヤルGC、 盛岡南CC、 泉パークランドGC (5)			
	コライシバ	適用性 新 規 (8年度)	中国G連G研 (1)	〔広葉雑草〕 H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生初期(2～3葉期) ； 0.05 g<200> ； 茎葉処理 ； 一任		
	ノシバ	適用性 新 規 (8年度)	中国G連G研 (1)			
〔アグロ・ジャパン〕						
18. HW-T62 水和剤 (ベンボール水和剤) DCBN 50%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研 (1)	〔(一年生雑草 及び多年生広葉雑草)〕 H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生前又は発生初期 (スズメノカタビラ2～3葉期) ； 1.5g<150～200> ； 土壌処理 ； 一任	実・ 継 実)〔コライシバ、ノシバ〕 一年生雑草 ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前 ～発生初期(3葉期まで)。 ・ 0.5～1.0g<150～200>。 ・ 土壌又は茎葉処理。 (継) ・ 連用試験の継続。 ・ 実証試験での確認。	
	ノシバ (連用)	作用性 新 規	植調研 (1)	〔(一年生雑草 及び多年生広葉雑草)〕 H9秋→H10春→H10秋→H11春 雑草発生前又は発生初期 (スズメノカタビラ2～3葉期) ； 1.0g<200> ； 土壌処理 ； 一任		
	コライシバ	適用性 継 続	小杉CC、美浦CC、 習志野CC、 琵琶湖CC、 西日本G研 (5)	〔スズメノカタビラ、一年生広葉雑草 及び多年生小型広葉雑草〕 雑草発生初期 ； 0.5、0.75、1.0g<200> ； 土壌処理 ； シマジソン、シバゲン、アジラン等		
	ノシバ	適用性 継 続	小杉CC、奥武蔵CC、 甲府国際CC、 南愛知CC、 西日本G研 (5)			
〔保土谷アグロス〕						
19. IDH-1105 フロアブル剤 (イソトップフロアブル) トリアゾラム 30%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC、 西日本G研 (2)	〔(一年生雑草)〕 H8春→H8秋→H9春→H9秋 雑草発生前 ； 0.1ml<200～300> ； 土壌処理 ； 一任	実	実)〔コライシバ、ノシバ〕 一年生雑草 ・ 芝生育期(秋)。 ・ 雑草発生前 (スズメノカタビラは3葉期まで)。 ・ 0.075～0.15ml<200～300>。 ・ 土壌処理。
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC、 東日本G研 (2)			
〔IDH-1105研究会 ； 出光興産〕						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量mL>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
20. JT-101 乳剤 (クラントピラ剤) ハコルコン酸 52% [日本たばこ産業]	シハ (処理法)	作用性 継 続	植調研	[ス ^メ ノカビ ^ラ] 芝休眠期 約3週間ごとに計3回散布 ; 3mL(50倍)<150>、 4 (50倍)<200>、 5 (40倍)<200> ; 茎葉処理 ; ハ ^ス 液剤0.4mL<一任> (1)	実 ・ 継	実)[(シハ)ス ^メ ノカビ ^ラ] ・芝休眠期、ス ^メ ノカビ ^ラ 生育期。 ・3~5mL<150~200>。 ・茎葉処理。 (継) ・実証試験での(処理濃度)検討。 ・倍量薬害試験での検討。
	シハ (薬害)	作用性 継 続	植調研	[(ス ^メ ノカビ ^ラ)] 芝休眠期 ; 4mL(50倍)<200>、 8 (50倍)<400>、 12 (50倍)<600> ; 茎葉処理 ; 無処理 (1)		
	シハ	適用性 継 続	埼玉県民G場、 千葉大学、 リバー富士CC、 関西G研、 祁答院GC (5)	[ス ^メ ノカビ ^ラ] 芝休眠期 ; 3mL(50倍)<150>、 4 (50倍)<200>、 5 (40倍)<200> ; 茎葉処理 ; ハ ^ス 液剤0.4mL<一任>		
21. MN-93㊦ 水和剤 ハロスルフロニメチル 10% シ ^チ オビ ^ル 12% [日産化学工業]	コライシハ	適用性 新 規	植調研、 那須ナ ^ー 、 兵庫農技、 福岡農総園研 (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.3、0.4g<200~300> ; 土壌処理 ; プ ^ロ ハービ ^イ 水和剤 0.3g<200~300>	継 (継)	・効果、薬害の確認。
	シハ	適用性 新 規	盛岡南CC、 那須ナ ^ー 、 奥武蔵CC、 鳥取園試、 西日本G研 (5)			
22. NC-319 顆粒水和剤 ハロスルフロニメチル 75% (つづく)	ベント グ ^ラ ス	適用性 新 規 (8年度)	<小諸高原GC>	[広葉雑草] ①雑草発生前 ② 〃 発生初期(2~4葉期) ; 0.03、0.04、0.05g<200~300> ; ①土壌処理、②茎葉処理 ; イン ^フ ール水和剤0.3g<200~300> (ク ^リ ーンに準ずる条件) (0)	実 ・ 継	実)[(コライシハ、シハ、ベントグ ^ラ ス、 プ ^ロ ハービ ^イ グ ^ラ ス)広葉雑草] ・芝生育期(秋)、 雑草発生前 ~発生初期(3葉期まで)。 ・0.03~0.05g<200~300>。 ・茎葉処理。 (継) ・実証試験での確認。
	ベント グ ^ラ ス	適用性 新 規	<青森CC>、 ウインク ^{FGC} 、 習志野CC、 大月CC、 桑名CC (4)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.03、0.04、0.05g<200~300> ; 土壌処理 ; イン ^フ ール水和剤 0.3g<200~300>		
			<青森CC>、 ウインク ^{FGC} 、 習志野CC、 大月CC、 桑名CC (4)	[一年生広葉雑草] 雑草発生初期 ; 0.03、0.04、0.05g<200~300> ; 土壌処理 ; イン ^フ ール水和剤 0.3g<200~300>		

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
22. NC-319 顆粒水和剤 (つづき)	ブルーグラス	適用性 新 規	札幌芙蓉CC、 廣済堂札幌CC、 泉パークランドGC、 東日本G研 (4)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.03、0.04、0.05g<200-300> ; 土壌処理 ; インフール水和剤 0.3g<200-300>		
[日産化学工業]			札幌芙蓉CC、 廣済堂札幌CC、 泉パークランドGC、 東日本G研 (4)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.03、0.04、0.05g<200-300> ; 土壌処理 ; インフール水和剤 0.3g<200-300>		
23. NC-340 顆粒水和剤 ハロスプロンメチル 12% プロシアミン 24%	コライシバ	適用性 新 規 (8年度)	<小諸高原GC> (0)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15、0.2、0.3g<200-300> ; 土壌処理 ; NC-340水和剤 0.2g<200-300>	実・ 継	実) [コライシバ、シバ] 一年生雑草 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.15~0.3g<200~300>。 ・ 土壌処理。 (継) ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
[エス・ティ・エス バイオテック、 日産化学工業]	コライシバ	適用性 継 続	<セハハスレスGC>、 美野里GC、 <高坂CC>、 大阪農技セ、 兵庫農技 (3)			
	シバ	適用性 継 続	<セハハスレスGC>、 美野里GC、 富士国際GC、 関西G研、 鳥取園試 (4)			
24. NC-341 液剤 (フラスコンM) MCPイソプロピルアミン塩 40%	ベント グラス	適用性 新 規	<青森CC>、 那須ナセー、 南愛知CC、 関西G研 (3)	[広葉雑草] 雑草生育期 ; 0.075、1.0、1.5ml<200> ; 茎葉処理 ; [ベントグラス、ライグラス、比較剤なし] ケンタッキーブルーグラス; MCP液剤 0.75ml<200>	実・ 継	実) [ブルーグラス、ライグラス] 広葉雑草 ・ 芝生育期(秋)、雑草生育期。 ・ 0.75~1.5ml<200>。 ・ 茎葉処理。 (継) ・ 効果、薬害の確認。
[日産化学工業]	ブルー グラス	適用性 新 規	札幌国際CC、 小樽CC、 札幌不二ロイヤルGC、 東日本G研 (4)			
	ライグラス	適用性 新 規	廣済堂札幌CC、 那須ナセー (2)			
25. NC-359 粒剤 (フランドラ) ジチオビル 0.13% (N:P:K=8:8:8)	コライシバ	作用性 継 続	植調研、 <西日本G研> (1)	[一年生雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 60g ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	(前回判定どおり)
[日産化学工業]	シバ	作用性 継 続	植調研、 <西日本G研> (1)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
26. NC-379 顆粒水和剤 ピラゾスルフロニエチル 10% アシュラム 30% [日産化学工業]	コウライシバ (殺草ス ベクトル)	作用性 新 規	植調研 (1)	[(一年生雑草)] 雑草発生初期～雑草生育期迄 (スズメノカタビラ5L迄) ; コウライシバ 0.3、0.4、0.5、1.0g<200-250> ; シバ 0.3、0.4、0.5 <200-250> ; 展着剤加用 ; 茎葉処理 ; アージラン80SC 0.2g<200-250>	継 継)	・効果、被害の確認。
	シバ (殺草ス ベクトル)	作用性 新 規	植調研 (1)			
	コウライシバ	適用性 新 規	グレート仙台CC、 江戸崎CC、 美野里GC、 大阪農技セ、 福岡農総園研 (5)			
	シバ	適用性 新 規	グレート仙台CC、 江戸崎CC、 美野里GC、 那須ナリー、 南愛知CC (5)			
27. NC-380 顆粒水和剤 トリアシラム 30% ハロスルフロニエチル 30% [出光興産、 日産化学工業]	コウライシバ (薬害)	作用性 新 規	宇都宮大学、 中国G連G研 (2) 東日本G研(自主)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.1、0.3、0.4g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任 [一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.075、0.1、0.15g<200-300> ; 土壌処理 ; イテトツプロアフル 0.1g<200-300>	継 継)	・効果、被害の確認。
	シバ (薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)			
	コウライシバ	適用性 新 規	小杉CC、 植調研、 那須ナリー、 今治CC、 宮崎CC (5)			
	シバ	適用性 新 規	東日本G研、 植調研、 奥武蔵CC、 今治CC、 祁答院GC (5)			
28. NCH-94 顆粒水和 (ザンシールド DF) ハロスルフロニエチル 10% カフェンストロール 50% [永光化成、 日産化学工業]	コウライシバ	適用性 新 規	小杉CC、 植調研、 那須ナリー、 奥武蔵CC、 東広野GC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.3、0.4g<200-300> ; 土壌処理 ; NCH-94水和剤 0.3g<200-300>	実 ・ 継	実)[コウライシバ、シバ] 一年生雑草] ・芝生生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.2～0.3g<200～300>。 ・土壌処理 継) ・効果、被害の確認。 ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。
	シバ	適用性 新 規	東日本G研、 植調研、 那須ナリー、 甲府国際CC、 桑名CC (5)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 >=中間または 試験実施中(数)	〔対象雑草、試験のねらい〕 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
29. NH-502 水和剤 インダノフィン 50% 〔日本農薬〕	コウライシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (2)	〔(一年生雑草)〕 H8春→H8秋→H9春→H9秋 雑草発生前 ; 0.3g<200-300> ; 土壌処理 ; -	実	実)〔コウライシバ、ノシバ〕 一年生雑草 ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.15~0.3g<200~300>。 ・土壌処理。
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	コウライシバ ノシバ	実 証	ブラッサム・ゲーション、 埼玉県民G場、 リバー富士CC、 琵琶湖CC (4)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.2g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
30. NP-63 液剤 メコプロップ-P 52% 〔日本曹達〕	コウライシバ	適用性 継 続	植調研、 茨城農総園研、 総武CC、 浜松シールドGC、 花屋敷GC、 佐賀CC (6)	〔一年生広葉雑草、 クローバー、チトメクサなど〕 雑草生育期 ; 0.25ml+展着剤<200> 0.375、0.5ml<200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.75ml<200>	実 ・ 継	実)〔コウライシバ、ノシバ、ブルグラス〕 広葉雑草 ・芝生育期(秋)、雑草生育期。 ・0.25~0.5ml<200>。 ・茎葉処理。 継) ・0.25ml<200>処理での展着剤 の加用、不加用の効果確認。 ・倍量薬害試験での確認。
	ノシバ	適用性 継 続	植調岩手、 サ・グリーンフレイヤー、 富士国際GC、 南長野GC、 タイカースGC、 久山CC (6)			
	ブル グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 札幌芙蓉CC、 小樽CC、 東日本G研 (4)			
31. OK-701 40F フロアック(殺草 ベクトル) 新規化合物 40% 〔大塚化学〕	コウライシバ (殺草 ベクトル)	作用性 新 規	植調研、 東日本G研 (2)	〔一年生雑草〕 雑草発生前初期 ; 0.1、0.15、0.2ml<200-300> ; 土壌処理 ; ディクトラン乳剤 0.15ml<200-300>	継 (継)	・成分未公開。 ・効果、薬害の確認。
	コウライシバ (薬害)	作用性 新 規	植調研、 西日本G研 (2)	〔(一年生雑草)〕 雑草発生前~発生前初期の一時期 ; 0.2、0.4、0.8ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	コウライシバ	適用性 新 規	東日本G研、 佐野GC、 奥武蔵CC、 琵琶湖CC、 西日本G研 (5)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.1、0.15、0.2ml<200-300> ; 土壌処理 ; ディクトラン乳剤 0.15ml<200-300>		
32. RGH-840 液剤 トリクロピル 30% MCP液剤 10% 〔理研グリーン〕	コウライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 ウイングFGC、 琵琶湖CC、 西日本G研 (4)	〔広葉雑草〕 雑草生育期 ; 0.6、0.7、0.8ml<150-200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 1ml<200>	実 ・ 継 (継)	実)〔コウライシバ〕広葉雑草 ・芝生育期(秋)、雑草生育期。 ・0.6~0.8ml<150~200>。 ・茎葉処理。 継) ・倍量薬害試験での確認。

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
33. RH-315N 水和剤 フ・ロビ・サ・ミト 40% ハロスルフロニメチル 10% [アグ・リート]	コライシバ	適用性 継 続	小杉CC、 美野里GC、 佐野GC、 佐賀CC (4)	[一年生雑草] 雑草発生初期 ; 0.15、0.2、0.3g<200-300> ; 茎葉兼土壌処理 ; 一任	実・ 継	実[コライシバ]一年生雑草 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 ~雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.15~0.3g<200-300>. ・ 土壌又は茎葉処理. (継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
34. RYH-106 フロアフル剤 オキザリアキセル 34.5% [ローヌ・ブーラン 油化アグ・ロ]	シハ (連用)	作用性 継 続	植調研、 <東日本G研> (1)	[一年生雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 0.2ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	—	—
35. RYH-108 フロアフル剤 ジ・フルフェニカン 50% [ローヌ・ブーラン 油化アグ・ロ]	シハ	適用性 継 続 (8年度)	<小諸高原GC> (1)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前(1葉期まで) ; 0.075、0.1、0.15ml<200-300> ; 土壌処理剤 ; ターザイン水和剤0.06g<200-300>	実・ 継	(前回判定どおり)
36. RYH-121 フロアフル剤 mecoprop-isomer 52% [ローヌ・ブーラン 油化アグ・ロ]	コライシバ シハ	適用性 継 続 適用性 継 続	小杉CC、美浦GC、 那須ナードー、 関西G研、 門司GC (5) 東蔵王GC、 江戸崎CC、 甲府国際CC、 東広野GC、 祁答院GC (5)	[一年生広葉雑草 及びビショメタ、ホトメタ、スキナ] 雑草生育期 ; 0.25、0.5ml<200> ; 土壌処理 ; MCP液剤 0.5、1.0ml<200>	実・ 継	実[コライシバ、シハ]広葉雑草 ・ 芝生育期(秋)、雑草生育期. ・ 0.25~0.5ml<200>. ・ 茎葉処理. (継) ・ 倍量薬害試験での確認.
37. SL-160 粒剤 フラザスルフロニ 0.1% [石原産業]	コライシバ (連用) シハ (連用) コライシバ シハ コライシバ シハ コライシバ シハ コライシバ シハ	作用性 新 規 作用性 新 規 適用性 新 規 適用性 新 規 適用性 新 規 適用性 新 規 実 証	関西G研 (1) 東日本G研※ (1) 宇都宮大学、 <中国G連G研> (1) 宇都宮大学、 琵琶湖CC (2) 奥武蔵CC、 中国G連G研 (2) 宇都宮大学、 琵琶湖CC (2) 東日本G研、 琵琶湖CC、 佐賀CC (2)	[一年生雑草 及びヒメタ、ハマスグ] H9秋→H10春→H10秋→H11春 雑草発生前 ; 8g(※); 6、8、10g ; 土壌処理 ; 一任 [一年生雑草及びヒハマスグ] 雑草発生前 ; 5、6、8g ; 土壌処理 ; 一任 [一年生雑草及びヒメタ] 雑草発生前 ; 5、6、8g ; 土壌処理 ; 一任 [一年生雑草] 雑草発生前 ; 5g ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	(前回判定どおり) 実[コライシバ、シハ]一年生雑草 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 4~6g. ・ 土壌処理. (継) ・ ハマスグ、ヒメタに対する効果の 確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
38. TG-02 ヘースロシン 1.33% トリフルリン 0.67% [東洋グリーン、 グ・ウ・ケミカル日本]	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研、 中国G連G研 (2)	[〔一年生雑草〕] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 20g ; 土壌処理 ; 一任	継	(継) ・効果、薬害の確認。
	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC、 埼玉県民G場、 習志野CC、 南愛知CC、 久山CC (5)	[〔一年生雑草〕] 雑草発生前 ; 10、15、20g ; 土壌処理 ; ヘナフィン粒剤 16g		
	シハ	適用性 新 規	東日本G研、 奥武蔵CC、 南長野GC、 琵琶湖CC、 門司GC (5)			
39. TG-03 ヘースロシン 1% オリサリン 1% [東洋グリーン、 グ・ウ・ケミカル日本]	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研、 中国G連G研 (2)	[〔一年生雑草〕] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 20g ; 土壌処理 ; 一任	継	(継) ・効果、薬害の確認。
	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC、 埼玉県民G場、 習志野CC、 南愛知CC、 佐賀CC (5)	[〔一年生雑草〕] 雑草発生前 ; 10、15、20g ; 土壌処理 ; ヘナフィン粒剤 16g		
	シハ	適用性 新 規	東日本G研、 奥武蔵CC、 南長野GC、 琵琶湖CC、 宮崎CC (5)			
40. TMH-972 mecoprop-isomer 6 % 2,4-PA 26 % MDBA 2.5% [トメシ、東洋グリーン]	コライシバ (新旧)	作用性 新 規	東日本G研 (1)	[〔広葉雑草〕] 雑草生育期 ; 0.6、0.8、1.6ml<100-150> ; 茎葉処理 ; トリメクF液剤 0.6ml<100-150> ; 非イオン系展着剤加用	継	(継) ・効果、薬害の確認。 ・倍量薬害試験での確認。
	シハ (新旧)	作用性 新 規	東日本G研 (1)			
	コライシバ	適用性 新 規	石川農総試、 クインクFGC、 総武CC、関西G研、 中国G連G研 (5)	[〔広葉雑草〕] 雑草生育期 ; 0.4、0.6、0.8ml<100-150> ; 茎葉処理 ; トリメクF液剤 0.6ml<100-150> ; 非イオン系展着剤加用		
	シハ	適用性 新 規	植調岩手、 佐野GC、 南長野GC、 琵琶湖CC、 祁答院GC (5)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
41. YH-552 水和剤 (アッパランダー) ビ・リフ・チカルブ 20% ビ・フェノックス 40% [八州化学工業]	コライシバ	適用性 継 続	ブ・ラッサムカ・ラ・ン、 佐野GC、 リハ・富士CC、 タカ・スGC、 兵庫農技 (5) 東日本G研(自主)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.8、1.0、1.2g<200-300> ; 土壌処理 ; ウィーラFL又はエイゲンWP 1.0g<200-300>	実・ 継	実) [(コライシバ、リハ、ベントグラス) 一年生雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.8~1.5g<200~300>。 ・土壌処理。 (継) ・倍量薬害試験での確認。 ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。
	リハ	適用性 継 続	サ・グ・リン・プライヤ、 奥武蔵CC、佐野GC、 リハ・富士CC、 東日本G研 (5)			
	ベント グラス	適用性 継 続	奥武蔵CC、 東日本G研、 大月CC、 南愛知CC、 中国G連G研 (5)			
42. オルソ・ンカーブ 90 乳剤 オルソ・ンカーブ 90% [理研グリーン]	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 ウイングFGC、 埼玉県民G場、 琵琶湖CC、 兵庫農技 (5)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.6、0.9ml<200-300> ; 土壌処理 ; ランレイ乳剤 1.2ml<300>	実・ 継	実) [(コライシバ) 一年生イネ科雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.6~0.9ml<200~300>。 ・土壌処理。 (継) ・倍量薬害試験での確認。 ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。
43. シアナジン フロアブル剤 シアナジン 42% [日本サイナジット]	コライシバ (連用)	作用性 継 続	西日本G研 (1)	[(一年生雑草)] H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生前 ; 0.2ml<200-250> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コライシバ)一年生雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.1~0.2ml<200~300>。 ・土壌処理。 注)・高温時の散布は、薬害を生 じることがある。 (継) ・実証試験での確認。
44. ナブ・ロバ・ミト 顆粒水和剤 ナブ・ロバ・ミト 48% (成分表示変更 50%→48%) (つづく)	コライシバ (剤型)	作用性 新 規	植調研、 宇都宮大学 (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.3、0.4、0.6g<200-300> ; 土壌処理 ; ナブ・ロバ・ミト水和剤 0.6g<200-300>	実・ 継	実) [(コライシバ、リハ) 一年生雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.3~0.6g<200~300>。 ・土壌処理。 (継) ・効果、薬害の確認。 ・連用試験の継続。 ・実証試験での確認。
	リハ (剤型)	作用性 新 規	植調研、 宇都宮大学 (2)			
	コライシバ (薬害)	作用性 新 規	植調研、 宇都宮大学 (2)	[(一年生雑草)] 雑草発生前 ; 0.8、1.2、1.6、2.4g<200-300> ; 土壌処理 ; ナブ・ロバ・ミト水和剤 0.6g<200-300>		
	リハ (薬害)	作用性 新 規	植調研、 宇都宮大学 (2)			
	コライシバ (連用)	作用性 新 規	植調研、 中国G連G研 (2)	[(一年生雑草)] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 0.6g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	リハ (連用)	作用性 新 規	植調研、 中国G連G研 (2)			

A. 除草剤 つづき

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
44. ナブ・ロバ・シト [®] 顆粒水和剤 (つづき)	コウライハ	適用性 新 規	石川農総試、 千葉大学、 東日本G研、 リバー富士CC、 大阪農技セ、 西日本G研 (6)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.3、0.4、0.6g<200-300> ; 土壌処理 ; ナブ・ロバ・シト [®] 水和剤 0.6g<200-300>		
	シバ [®]	適用性 新 規	東日本G研、 サ・竜ヶ崎、 甲府国際CC、 南愛知CC、 関西G研、 西日本G研 (6)			
45. フロシ・アミン フロア・ル剤 フロシ・アミン 41% [エス・デー・イー・エス バ・イテック]	ベント グラス	適用性 継 続	那須ナ・セー、 大月CC、 桑名CC、 南愛知CC、 関西G研 (5)	[一年生雑草(ヤ科を除く)] 雑草発生前 ; 0.08、0.12、0.16ml<200-300> ; 土壌処理 ; クサヅ・ロツク水和剤 0.12g <200-300>	実 ・ 継	実)[コウライハ [®] 、シバ [®] 、ベントグラス、 フルーグラス、バーミューダグラス] 一年生雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前、 ・0.08~0.16ml<200~300>、 ・土壌処理 注)・ヤ科雑草の発生の多い場 所での使用は注意する。 継) ・運用試験での確認。 ・実証試験での確認。
	ブルー グラス	適用性 継 続	小樽CC、 札幌不二ロイヤルGC、 東日本G研 (3)			
	バミューダ グラス	適用性 継 続	新沼津CC、 桑名CC、 久山CC (3)			

B. 生育調節剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
1. DNS-4 水和剤 紺青 7.7% N分を微量配合 (つづく)	コウライハ	作用性 新 規 (8年度)	<中国G連G研> (0)	[鉄分蓄積効果による 春の発芽促進及び緑化促進] 秋~冬: 枯れ上がり直前から 1ヶ月毎3回 ; 2.5、10ml<200> ; 茎葉処理 ; 芝着色剤(スパーカラー-K) 5ml<200> (グリーンに準ずる)	—	
	ベント グラス	作用性 新 規 (8年度)	<中国G連G研> (0)	[耐寒性の改善(緑色維持)、 鉄分蓄積効果による 春の発芽促進及び緑化促進] 秋~冬: 初霜の前から 1ヶ月毎3回 ; 2.5、10ml<200> ; 茎葉処理 ; 芝着色剤(スパーカラー-B) 5ml<200> (グリーンに準ずる)		

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > =中間または 試験実施中(数)	[試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/㎡ ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
1. DNS-4 水和剤 (つづき)	コウライシバ	作用性 継 続	東日本G研、 中国G連G研 (2)	[葉色維持] 芝刈り止め直後から12月まで ; 月1回の3回散布 ; 1.5、3.0、5.0 ml<200> ; 茎葉処理 ; 慣行着色剤		
	コウライシバ	作用性 継 続	西日本G研 (太宰府GC) (概要なし) (1)	[葉色維持] 10月中旬と11月中旬 ; 2回散布 ; 3.0~5.0ml<着色剤の慣行量> ; 1ホールのフェアウェイ ; 一任		
	コウライシバ	作用性 継 続	東日本G研、 中国G連G研 (2)	[発芽促進] 早春期2月~3月 ; 20日毎3回散布 ; 1.5、3.0、5.0 ml<200> ; 茎葉処理 ; 慣行着色剤		
[大日精化工業]						
2. DNS-5 水和剤 紺青 7.7% 微量要素金属M配合	コウライシバ	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)	[葉色維持] 芝刈り止め直後から12月まで ; 月1回の3回散布 ; 1.5、3.0、5.0 ml<200> ; 茎葉処理 ; 慣行着色剤	—	—
	コウライシバ	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)	[発芽促進] 早春期2月~3月 ; 20日毎3回散布 ; 1.5、3.0、5.0 ml<200> ; 茎葉処理 ; 慣行着色剤		
[大日精化工業]						
3. IT-01 水溶剤 未公開 1 種 99%	コウライシバ	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)	[葉色維持] 芝休眠前と1ヶ月後 ; 2回散布 ; 10、20g<500> ; 茎葉処理 ; 無処理	—	—
	ペント ガラス	作用性 新 規	那須ナール、 中国G連G研 (2)	[葉色維持] 芝休眠前と1ヶ月後 ; 2回散布 ; 5、10g<500> ; 茎葉処理 ; 無処理		
[伊藤園]						